

## 令和6年度 第2回長門市介護人材確保協議会 議事録

- 1 日 時 令和7年2月28日（金曜日）15時15分～16時20分  
2 場 所 長門市役所4階 会議室2  
3 出席者 別添委員名簿のとおり（末永委員、伊藤委員欠席）  
4 議 事

### （1）令和6年度の介護人材確保に向けた取組報告について

#### <事務局より報告>

以下について、令和6年度の実施状況を報告。

#### ①奨学金返還補助制度

⇒申請が13件あり、うち3件が介護分野であった。

#### ②人材確保支援事業

⇒民間求人メディアへの掲載料や自社ホームページの制作・改修、インターンシップの受入補助等を実施したが、介護分野は1件のみであった。

#### ③外国人雇用相談会の開催

⇒外国人雇用に係る無料相談体制を構築した。

#### ④県の移住支援金制度の周知

⇒本市への移住就業を支援するため、県の移住支援金制度を市内事業所へ周知した。

#### ⑤長門夢・みらいフェスタでの啓発リーフレット配布

⇒市内小中学生を対象としたしごと体験イベントにおいて、介護職の理解を深めるリーフレットを配布した。

#### ⑥高校でのキャリア教育に参加

⇒高校生との対話により介護職をより深く知ってもらうことを目的にキャリア教育に参加した。

#### ⑦介護人材確保に係る研修会の実施

⇒他市で介護人材確保に係る取組を実施している講師を招聘し、市内介護事業所に向けて研修会を実施した。

#### ⑧省人化・省力化機器導入補助金

⇒人手不足解消に繋がる省人化・省力化機器に係る補助金について周知を行った。

#### <意見交換>

##### （委員）

・山口県福祉人材センターと連携して、毎年、介護就職の面接会を実施している。今年度は、萩会場、長門会場で実施し、どちらも10名程度の参加者があり、採用まで結びついたケースもある。また毎月1回、福祉の仕事相談会を行っており、長門市での開催は7月のみだが、2月の萩市の会場で長門市の事業所に参加いただいた。

(2) 令和7年度の介護人材確保に向けた取組について

<事務局より令和7年度取組案を説明>

・令和6年度の取組にプラスして以下の取組を考えている。

- ①スポットワーカー活用支援
- ②外国人材確保支援
- ③長門夢・みらいフェスタでのブース出展
- ④ケアプランデータ連携システムの利用促進

<意見交換>

(事務局)

外国人材の雇用について、以前委員から補助金の要望があり、来年度補助金を予定しているが、活用できそうでしょうか。

(委員)

お金の面もあり、なかなか手が出せない状況です。現実的には難しいと考えている。

(委員)

何にお金がかかるのか教えていただきたい。

(委員)

登録の手続き、外国人の書類を出したり定期的にかかるみたい。

(事務局)

他の事業所は、外国人雇用の話はないでしょうか。

(委員)

通常の日本人を雇用するより給料以外の部分が多い。社会福祉法人も運営が厳しいので、給与以外の費用を捻出しようとするとかかなり厳しい。例えば、製造業や小売業みたいに販売の価格を上げて転嫁できればいいが、こちらはできない。

(委員)

逆にできている事業所は価格転嫁ができているのか。

(委員)

結局、費用対効果だと思う。人材がいなくてどうしようもなくて、今までの蓄えを崩しながら人材を雇いたいってところがあればすると思う。そこまではない事業所は、できるなら日本人で努力すると思う。

(事務局)

スポットワーカーの補助は介護事業所でも馴染みそうでしょうか。

(委員)

今いる従業員で間に合っている。部屋の清掃等の補助は、元々、宿泊施設等で働いていた人が希望される。補助的な仕事は足りていると思う。有資格の仕事の部分が足りない。

(事務局)

子供相手の取組があるが、個人的には、その親の理解も必要だと思う。子供が介護分野に興味を持っても親が止めるようなことがひょっとしたらあるかもしれない。親に対する取組があってもいいのではと思う。また、魅力発信について、SNSを活用して、現場の様子

等を発信していくことが必要ではないかと思う。SNSは、手間はかかるがお金はかからないと思うので、その辺りを工夫してみたらと思う。また、やりがいについて、どういうところが魅力なのかを示していかないといけないと思う。

(事務局)

親子でのイベントとなると、長門夢・みらいフェスタがある。親にどうやって魅力を伝えるのか、次回の協議会で協議し、来年度はブース出展したい。介護現場の方の協力も必要となる。内容は、例えば、社協さんがしている福祉教育での車椅子体験等をやるイメージを持っている。

(委員)

今年度実施した高校でのキャリア教育に参加させてもらった。人手不足で現場職員が参加できなかったが、現場職員から話を聞いて、事務局職員が資料作成し参加した。親へのアプローチについて、学校で福祉教育を、参観日みたいな親が参加する形で実施している。派遣や公益事業をやっているので、他の法人さんと協力して派遣は可能と思っている。早めのスケジュールを示してほしい。

(事務局)

次回の協議会でもう一つ協議したい内容が、市内事業所に向けた研修会の内容である。来年度も研修会を実施したいと考えているので、次回協議会でテーマを決定したい。

それともう一つ、魅力発信等の取組みは、すぐに人材を確保できるものではない。すぐに人材が必要だという事業所もあると思う。即効性のある取組を他市の状況等を参考にし、検討したいと思う。